

第四波の状況と今後の対応方針について

資料1「大阪府新型コロナウイルス
対策本部会議資料」(4/7)

第四波の状況

<感染状況について>

- 第四波は、直近2週間で新規陽性者数が約4.3倍増加。第二波（約2.7倍）や第三波（約2.3倍（10月）、約2.1倍（年未年始））を大きく上回る速度で感染が急拡大。これまでの波に比べ、感染拡大の局面が大きく変化。
- 30代以下の新規陽性者が急激に増加（第三波 45.6%→3月中旬以降55.1%）。変異株陽性者については、10歳未満の発生も多い。
- 3月中旬より、大学生を中心に学生の陽性者が増加。感染経路としては、家庭内感染以外の濃厚接触者や感染経路不明の割合が増加。

<医療提供体制について>

- 急激な重症者の増加により、フェーズ移行に伴う医療提供体制の確保が整う前に、重症病床使用率が8日間で40.2%から66.5%に急上昇。
 - ・重症者数約60名増加に要した日数：第三波1か月→第四波13日
 - ・重症者数約80名増加に要した日数：第三波35日 →第四波15日
- 重症者数に占める50代以下の重症者数の割合が急増：第三波17.5%→第四波25%
診断から重症化までの日数が短期化の傾向：第三波8日間→第四波7日間（変異株6日間）など、変異株の影響が懸念。

今後の対応方針

- 急増している30代以下の若者から高齢者層に感染が拡大。
⇒医療提供体制が極端にひっ迫する恐れが極めて強く、確保病床数を超えて重症患者が発生する可能性が高い。
- 上記から、以下のことに緊急で取り組む。
 - ① 府民に対する不要不急の外出自粛要請の徹底
 - ② 高齢者や基礎疾患がある方に対し、感染対策の徹底の注意喚起
 - ③ 新学期を迎えるにあたり、教育現場における感染防止対策の徹底（教育活動や部活動など、感染リスクの高い活動を控えるなど）
 - ④ 医療提供体制の緊急対応（確保病床を上回る臨時増床の要請など）